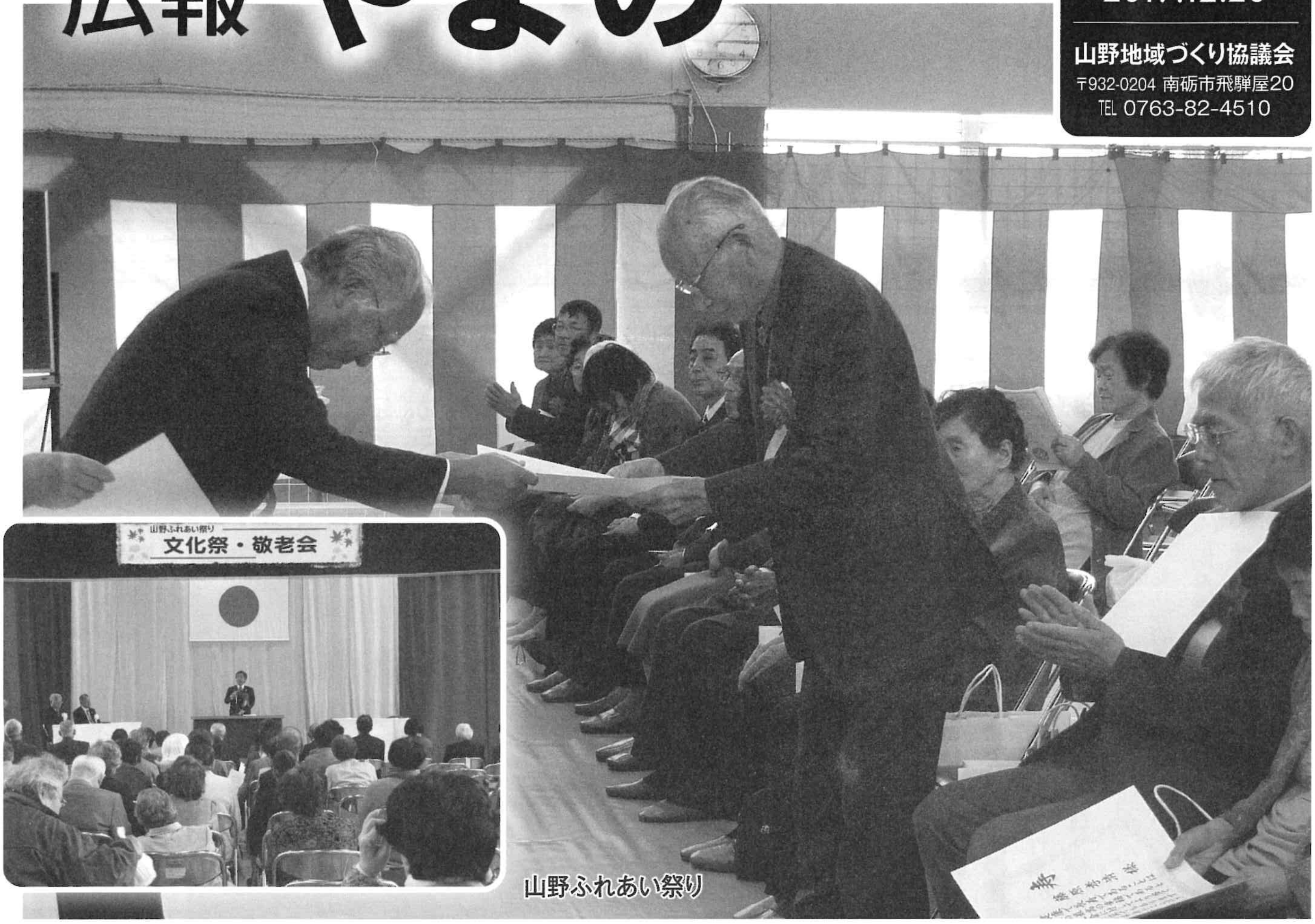
山野地域づくり協議会

広報 やまの

No.124
2019.12.20

山野地域づくり協議会
〒932-0204 南砺市飛騨屋20
TEL 0763-82-4510



山野ふれあい祭り

一年を振り返って

市議会議員　川原忠史

今年は、5月1日に平成から令和と新元号に変わる歴史的な年でありました。穏やかな一年となるよう願っていましたが、台風15号、19号では倒木や鉄塔の倒壊などにより、停電が広範囲に長期間続き、また、豪雨による堤防の決壊のため住宅の浸水や倒壊など、自然の驚異にさらされた一年となりました。被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

幸いにも当地区には大きな災害もなく大変ありがたく思っていましたが、山のどんぐりなどの極端な不作により熊が頻繁に出没し、不幸にも当地区において人身被害も発生してしまいました。防災無線や行政・関係機関により広報もされていますが、行き届かない点もあり災害から身を守るため「なんと！緊急メール」への登録をしていただければと思います。

さて、4月から地域づくり協議会がスタートし取組が進められていますが手探りの状態であると思います。地域の皆様にはこの取組を温かい目で見守っていただき、自らも進んで参加され地域活性化・地域課題解決に関わっていただければと思います。

また、令和2年7月の統合庁舎での業務スタートを目指し工事が進められており、整備が終わったところから移転され1月には井波庁舎の住民生活課・税務課が移転しさみしくなっていきます。

井波庁舎の活用・地域の活性化策について井波地域においては「いなみ　まちプロ」で検討されています。皆様からもご意見をお聞かせいただければと思います。

結びに、山野地区の皆様の今後益々ご健勝でご多幸でありますこと御祈念申し上げます。

熊！！注意　emergency.nanto-city@raiden.ktaiwork.jp　**なんと！緊急メール**

山野地域づくり協議会の新しい動き

山野地域づくり協議会が発足して八か月が経過しました。

発足総会でも表明されましたが、今年度は三団体でなされていた様々な行事がスムーズに行われるように従来の進め方を踏襲しながら、協議会が地域に根付き広く認知されるよう取り組んでまいりました。

しかし、「小規模多機能」の理念を活かした取組が見られないとか、準備委員会であれほど熱く議論したのに変化の実感が得られない等の声もあるように思われます。

協議会役員会・各四部のスタッフ・事務局は、従来の行事の見直しや統合化、また来年度以降の新規事業の模索等、激変を避けながら、次世代に魅力ある山野を手渡すこと、増え続ける高齢者の生きがいある山野になることを目指して議論を進めております。

本コーナーでは、これまで取り組まれたこと、これからやろうとしていることをお伝えしていくようにいたします。

今年変えたこと・始めたこと

◎部長連絡会の開催

今年7月から協議会三役、各四部の部長、事務局とで部長連絡会を開いております。一カ月の間の各方面からの要請や要望・各部の進捗状況・課題・各部間の調整・行事の統合・役員会に掛ける議案等幅広く話し合っております。

各部の運営についても、各部長の悩みなども織り交ぜながら、将来のビジョンも含め前向きな議論を進めております。

◎自助・共助の大切さを学ぶ　～親子で防災訓練～

防災・安全部　谷口　繁慶

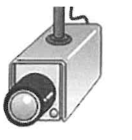
8月10日(土)山野地域づくり協議会が発足して初めての防災訓練を実施しました。多数の参加と参加者の負担軽減を目的に、住民が大勢集まるラジオ体操会の後に実施し、親子連れら約150人が防災について理解を深めました。初期消火や煙中体験、洪水ハザードマップや非常持出袋の解説等、多様な内容で行い「消火器はホウキで掃くように使う」「煙は高いほうに昇るので、吸わないように低い姿勢で逃げる」等のポイントを学び防災意識を高める機会となりました。

◎防犯カメラ設置

山野保育所交差点に防犯カメラが設置されます。

これは、園児達やそこを通る方々の安全を願い、協議会が設置を南砺警察署に申請したものです。

何かと普通では考えられないような物騒な犯罪が起きる今日、地域内外の人たちが安心して暮らせるよう願いを込めて設置されます。



◎皆さんの声を冊子にしました。

昨年、中学生以上の皆さん全員を対象に地域づくりのためのアンケートを実施しました。80%以上からの回答にたくさんの意見、思いが寄せられました。

その一人一人の声を皆さんに届けようと、冊子にまとめて地域全家庭に配布しました。是非お読み頂き行動を起こしていただく契機になればと願っております。

「課題解決円卓会議」

協議会では今年度、県補助事業「地域コミュニティ活性化促進事業」の制度を利用し、山野地域内の20代から60代の皆さんにお集まりいただき、10年後20年後のあるべき山野を語り合い、今から何をしていくべきか真剣に議論をしていただいております。そして、どんな事を始めなくてはいけないかの提案をいただきます。まだ結論にはいたりませんが、早いものは次年度からの事業に取り入れたいと思っています。

協議会

「課題解決円卓会議」
Ⓐ強みを活かした地域づくり
Ⓑ暮らしやすい環境づくり
Ⓒ情報発信で価値の再発見

円卓会議に参加して

Ⓐ班　高熊莉歩

私が本会議に参加したのは大学で地方創生について学んでおり、知識を生かして地元に貢献できないかと思ったからです。

会議では、山野地区の現状を認知し、今後どうしていくべきなのかを議論しています。参加者の年齢の幅が広く、私自身初めて知ることばかりで終始驚いています。ですがこれが現状です。実際にどんな団体、活動があるのか知りませんでした。

そのため、参加したくても参加できない状況でした。

話し合う中で、今後若者の活躍の場を設けるためにも、見直さなければならない課題があることに気づきました。私は、幅広い年齢の人たちに山野地区の魅力を知ってもらい、地元を好きになって欲しいです。

暮らしやすい環境づくり

Ⓑ班　榎木勝規

山野交流センターに行きやすく、自然に人が集まるようになれば、つながりが深まり活気も出ると考え、交流センターへの送迎サービスと居場所としての魅力を高める環境づくり、人が来たくなるイベントづくりについて企画を練りました。

交流センターには大画面で楽しめるゲーム機や読みたくなる本が置かれ、駄菓子を買うこともできます。2階でバスケットボールを楽しむこともでき、地域の子どもたちがたくさん利用するようになります。連絡すれば車で送迎してもらえるので、とても便利です。時には手づくりおやつの販売や昔ながらの遊び体験会で世代を越えた交流がなされ、スポーツ教室や塾の会場としても利用されます。

これらのサービスには山野域内で使える仮想通貨Ｙａｍｏｎｅｙ（ヤマネー）が利用されます。子どもでもお年寄りでもハンディキャップを持った人でもそれぞれの特技や個性に応じた方法でヤマネーを「稼ぐ」ことができるように工夫されており、便利屋ヤマネーでは域内で寄せられた、ちょっとした頼みごと、困ったことを解決してくれる人にヤマネーをお渡しして、地域内の助け合いの輪を広げます。

そんな未来を描いています。ご期待下さい。

情報発信で価値の再発見

Ⓒ班　簑口健世

山野地区の名産といえば里芋が筆頭である。里芋詰め放題をはじめ、里芋料理が楽しめる山野の「さといもＤＡＹ」は今年も盛況となりました。

日々新しい文化・食・観光施設が生まれ変化を続ける都会の魅力に対し、今日も明日も変わらない平穏で静かな田舎の暮らし・四季折々の風景・新鮮な農産物は負けずとも劣らない価値あるものです。

慣れ親しんだ価値ある山野の暮らしを改めて見つめ直し、その魅力を積極的に発信することは、観光客や移住者の増加に直接的に影響を与え、長らく問題視されている「少子高齢化」対策ともなります。

まず私達はホームページとＳＮＳを存分に活用して山野の魅力を発信することに注力しようと考えました。その過程で山野の新しい魅力や価値観を発見できるでしょう。

山野ふれあい祭り
―文化祭・敬老会―
10月27日(日)

第1回ふれあい祭り　文化祭・敬老会を終えて

文化祭実行委員長　西村　一郎

地域づくり協議会が発足して初めての大きなイベント！　趣旨の異なる2つのイベントを同日開催することについて一昨年より協議され昨年は異論もある中皆様の理解を得て開催されました。

本年は元号も令和元年と改元された記念すべき年で、開催名も【第1回山野ふれあい祭り　文化祭・敬老会】とし、南砺市長からの米寿のお祝い状が16名の方に贈られました。

活動発表（保育園）

人生百年時代と叫ばれるなか大変おめでとうございます。

活動発表は日頃の練習成果を敬老者共々地域の皆さんと鑑賞、拍手と大喝采でひとときを楽しみました。センター前のバザーは出足も良く絶好調、昔ながらのもみ殻カマドにも注目が集まっていました。展示部門では、故藪文雄さんの遺作展があり睡蓮一筋に描き続けられた大作に感動、各団体の作品のレベルの高さに山野の皆さんの文化レベルの高さが伺えました。

今後ともふれあい祭りの名称や企画の変更があっても永く続けることが、山野地域の活性化の一助になると信じております。

米寿者記念写真

敬老会の部

令和元年度の敬老会がふれあい祭りのもと、午後1時から交流センターにおいて行われました。

今年、山野地域では16名の方々がめでたく米寿を迎えられました。

米寿の方々

小島　吉朗　様　　庄下　房子　様
藤原　孝清　様　　石倉　文子　様
岩﨑　良治　様　　柴田　俊子　様
岩倉　照子　様　　齋藤　和男　様
守山千江子　様　　樋爪　春雄　様
稲垣つる子　様　　細川千枝子　様
金田ミチヱ　様　　磯邉　和子　様
磯邉　好子　様　　大浦　昌子　様

式典では、山野地域づくり協議会大浦英征会長より、めでたく米寿を迎えられた方々お一人お一人に南砺市からのお祝い状が手渡されました。式典終了後記念撮影を行いました。

来年もぜひ元気なお顔を拝見出来たらと思います。

活動発表　いろいろ　バザー風景…イロイロ

今年度も大好評　焼き鳥販売

小嶋　栄子

今年度の焼き鳥販売では焼き鳥のほかに新メニューとしてフランクフルトも販売いたしました。天候不順で客足も心配されましたが、たくさんの方々にご購入していただけました。お陰様で、焼き鳥もフランクフルトも大好評で見事完売しました。

最後に、ご購入してくださった皆様、ご協力いただきました実行委員や育成会・母親クラブの皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

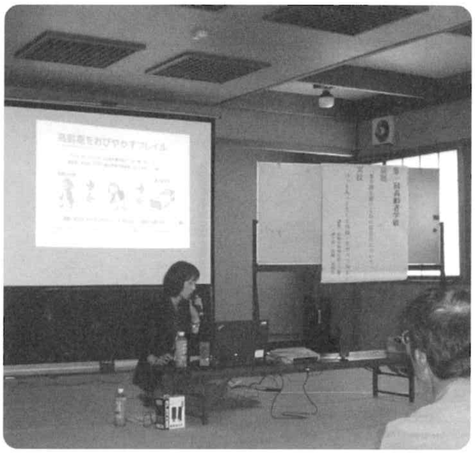
剣詩舞

光主　優

山野文化祭では、多くの地域の方々に日々の練習の成果を見ていただき、とても嬉しく思いました。出番が終わった後も色々な方々に温かい言葉をかけて頂きました。

これからも、山野地域の活性化に貢献できたらいいなと思います。日々練習に励み技術を磨いて、より良いものを皆様に披露できるよう、努力してまいります。

山野老人クラブ長寿会
高齢者学級「老い」を活きる



第1回　6月7日（金）
開講式・講演

「介護予防について」南砺市地域包括支援センターより講師の武種美樹氏より、お話を伺いました。介護を避けるためには「フレイル（虚弱）」を克服する努力が大切であり、克服のためには運動・食生活（栄養）・社会参加がポイントであり、なかでも社会参加の重要性を学びました。

「南砺市の特殊詐欺事案の現状について」南砺市市民協働部生活安全衛生係の竹本光司氏より事案の紹介と対応の「慌てない」「相談する」ことの大切さを学びました。

第2回　7月12日（金）
日帰り研修

バスで小一時間石川県ホリ牧場夢ミルク館、かほく市西田幾太郎記念館の後、歴史民俗資料館を見学しました。日本哲学の祖といわれた西田幾太郎は地元出身であること。また朝鮮戦争当時に砲弾の試射施設誘致に反対し撤収に成功した市民運動が内灘闘争であったこと等、身近に知らないことが随分あり驚きと感銘を覚える旅になりました。最後は多くの方がご存知の「やまじゅう」にて食事後帰路につきました。

第3回　11月13日（金）
閉校式・法話会

皆様がお馴染みの南山見谷の浄教寺高瀬顕正住職より「人生百年時代を生きる」と題し講演を頂きました。近い将来死亡率の第一位は「自殺」になると言われる今日、長い「老いの生活」をどう生きるか見つけ出すことこそ大切であり、毎日を充実させることに道がある。それを指し示すものこそ「仏法」であると終始笑いの渦のなか説かれました。

「高齢者学級担当として感謝」

何一つとして経験の無い長寿会活動に対して、楽しく・一生懸命やろうと決め一年間皆様にお付き合いいただき都度多くの皆様の参加とご支援ご協力をいただき感謝に堪えません。本当に有難うございました。

学級長　長谷邦威

防災・安全部
願いを込めて

10月7日南砺市交通安全協会山野地区支部はショッピングセンター「アスモ」で交通安全キャンペーンを行い、山野保育園の年長児5人と支部役員、南砺署員、協議会役員が参加。園児は「里芋のように粘り強く交通安全」のチラシと里芋セットを配り「交通安全お願いします」と買い物客に元気よく大きな声で呼びかけました。

山野地区のボランティアグループ手作りの「匂い袋」も同時に配り喜んでいただきました。

これからも、地域の交通安全に心掛け協力していきたいと思った活動でした。

松川　毅

立山登山に参加して

荒木桂子

8月3日朝から快晴です。今回は孫二人にも山の素晴らしさを体感して欲しく参加しました。車窓から称名滝を眺めながら、後ろには白山、右手に薬師岳、左には剣岳です。ラジオ体操後、さあ出発です。チングルマやイワギキョウなどの花を堪能しているうちに孫たちには初めての雪渓です。ビビりながらも楽しく渡っていいます。一の越からはリーダーの助けや、励ましを受けながら頂上に着きました。　バンザーイ!!

孫や私達にとって忘れられない有意義な一日になりました。

第29回 三世代交流盆踊り大会

盆踊り副実行委員長　藤永隆夫

令和という時代となり初めての盆踊り大会が今年も8月15日に盛大に開催されました。当日はあいにく雨天のため、交流センタースポーツ室での開催となりました。今年は屋内となり、参加人数は少し減りましたが楽しい機会となりました。

最初に山野保育園児たちの「にんにん忍たま音頭」で始まり、炭坑節・里芋洗い音頭と続き、休憩をはさんで再度にんにん忍たま音頭・郡上踊り・おわら節・最後に木彫り音頭で盛り上がりました。模擬店ではスーパーボールすくい、綿菓子つくりで子供たちの歓声が上がっていました。踊り終了後お楽しみ大抽選会で大盛り上がりでした。

今回も盆踊り実行委員会を構成する各種団体の協力を得て開催できましたこと感謝申し上げます。

今後も、地域活性化のため皆様が参加しやすい企画になればと思います。

パークゴルフ大会に参加して

中山皓斗

パークゴルフ大会は二回目の参加でしたが、最初はうまくいかなくて、何度も打ってやっと入っていたけれど、何度もやっているうちにコツをつかめて、打つ回数が少なくなりました。最後のコースでは、ぼくもビックリするくらいすごいことがおきました。なんと二回でカップに入ったのです。とてもうれしくて「よっしゃー」と喜びました。結果発表の時「一位、中山皓斗君」とよばれたときはとってもうれしかったです。来年のパークゴルフ大会にもぜったい参加したいです。

三世代交流会

健康福祉部　ふれあい部長　髙田博之

12月1日(日)今年も澄み切った青空のもと、薪を燃やしセイロでもち米を蒸し、臼杵で餅つきをする三世代交流事業が行われました。90名の子供たちを含む総勢150名が意欲的に楽しく活動しました。今年の児童クラブは、スタンプラリーを企画運営しました。子供達が親・祖父母世代と共に餅をつき、きな粉やゴマをまぶす、ゲームに参加するなど、ともに活動しました。参加者全員が協力して美味しい餅に仕上げました。餅つきを始めて体験した子供の目が輝いており、三世代交流の目指すものが見えた企画となりました。次回に向けて更なる工夫を期待したい。

会食では、ボランティアグループが料理した美味しい豚汁に舌鼓を打ちながら、腹いっぱいつきたての餅を食べました。また、70歳以上で一人暮らしの方に「里芋おはぎ」を届けました。

最後に、前日、前々日からの準備をしてくださった皆様に感謝申し上げます。

三世代でもちつき

母親クラブ　副会長　田村數枝

朝早くから続々と参加者が集まり、餅つきには長蛇の列ができました。長寿会、壮年会の方々の掛け声や手返しに合わせて、子供達は重たい杵を精一杯振り上げて何度もつきました。きな粉やゴマつけでは、アドバイスを聞き職人のような真剣な眼差しで手伝ってくれ、愛情のこもったお餅がたくさん出来上がり美味しくいただきました。

年に一度、三世代が交流する機会を今後も大切にしていきたいと思います。前日準備から多くの方々にご協力いただきましたことに感謝いたします。

クリスマス会

山野児童クラブ育成会　副会長　田村慎治

12月1日午後、山野交流センターでクリスマス会を開催しました。当日は暖かい日で約八十名の子供達が参加してくれました。みんなケーキやお菓子を食べながら、楽しみにビンゴ大会を待っていました。サンタさんの登場でビンゴ大会が始まると会場は大盛り上がり。番号が呼ばれてくるにつけ「ビンゴ」と大きな声が上がり、景品を貰うと友達同士で見せ合い嬉しそうでした。会場中が笑顔になり、子供達の楽しい思い出になったと思います。

編集後記

山野地域づくり協議会が発足してはや令和2年を迎えようとしています。

何といっても11月に熊出没が頻発し被害者が出たことがショックでした。

来年は山にたくさんドングリが実りますように、また、地域の皆さんが幸多い年でありますように。

もっと紙面を充実させるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

事務局　髙田